



考えよう！



## 『法曹人口・法曹養成問題』

主催者 これからの司法と法曹のあり方を考える弁護士の会  
シンポ連絡先 国府泰道（大阪弁護士会 35期）

TEL06-6365-9182 FAX06-6365-7293

開催日時：2014年10月11日（土）13時00分～16時00分  
場所：大阪弁護士会館10階

### 1 基調報告

- ① 「弁護士人口の現状（弁護士人口、事件数、所得の推移）」と資料説明  
（報告者：白浜徹朗弁護士）
- ② 「法曹養成制度の現状と法曹養成制度改革推進会議における議論の状況」と資料説明（報告者：正木みどり弁護士）

### 2 パネルディスカッション

- 川村遼平氏（NPO法人POSSE事務局長、「若者を殺し続けるブラック企業の構造」の著者）  
POSSE（ポッセ）は労働相談を中心に活動する若者主体のNPO法人です。
- 白浜徹朗弁護士（2013年度日弁連司法修習委員会副委員長，京都弁護士会）
- 増田 尚弁護士（元大阪弁護士会法曹人口問題PT委員，大阪弁護士会）
- 久野由詠弁護士（新65期、法科大学院修了者，愛知県弁護士会）
- コーディネーター 森山文昭弁護士（愛知法科大学院教授，愛知県弁護士会）

#### 【討論事項の柱】

- ① 弁護士人口と事件数推移をどう見るか
- ② 法曹志願者数の激減や法学部志望者の大幅減少をどう見るか
- ③ 司法修習の現状について・給費制問題の現状
- ④ 法科大学院制度について
- ⑤ 予備試験の受験資格制限論について

当会は、司法のあり方、とりわけ当面する法曹人口・法曹養成問題について各地の弁護士が自由に意見及び情報を交換することを目的とする会であり、全国各地の弁護士が会員となっています。

弁護士数の激増、弁護士の受任事件減少と所得の減少、弁護士・司法修習修了者の就職難、給費制廃止、法科大学院修了時点や司法修習修了時点での二極分化（多額の負債を抱える者とそうでない者）、法曹志望者の激減、多様性の阻害要因、法学部の志願者の大幅減少、予備試験に対する動き、司法修習の現状等々、いまや法曹人口・法曹養成制度の見直しは待った無しの状態にあります。法曹養成制度改革推進会議の出口は見えない中、自民党や公明党から合格者減少の提言が出されています。

弁護士は、事実を深く見つめ事実立脚することが重要であることを、日頃痛感しているはず。今こそ、法曹人口・法曹養成制度の今後の見直しの方向について、我々弁護士の中で忌憚のない意見交換をしませんか。

# 地裁本庁及び支部ごとのワ号新受事件数の推移一覧

番号	裁判所名	合議支部	17年ワ号	21年ワ号	25年ワ号	17年指数	21年指数	① 25年指数	16.12.27 弁護士数	26.4.1 弁護士数	② 16年末比指数	① / ②	26年 1人分 事件数
0	全地裁総数		132654	235508	147390	100.0	177.5	111.1	21188	35113	165.7	67.0%	4.2
59	大阪地裁堺支部	合議	1686	3159	1877	100.0	187.4	111.3	43	104	241.9	46.0%	18.0
60	大阪地裁岸和田支部		811	1722	868	100.0	212.3	107.0	21	32	152.4	70.2%	27.1
62	京都地裁舞鶴支部	合議	61	90	61	100.0	147.5	100.0	3	6	200.0	50.0%	10.2
63	京都地裁園部支部		69	130	66	100.0	188.4	95.7	1	3	300.0	31.9%	22.0
64	京都地裁宮津支部		67	150	89	100.0	223.9	132.8	1	7	700.0	19.0%	12.7
65	京都地裁福知山支部		68	208	58	100.0	305.9	85.3	3	9	300.0	28.4%	6.4
67	神戸地裁尼崎支部	合議	1294	1984	1167	100.0	153.3	90.2	47	94	200.0	45.1%	12.4
68	神戸地裁姫路支部	合議	1024	1774	1022	100.0	173.2	99.8	50	101	202.0	49.4%	10.1
69	神戸地裁豊岡支部	合議	81	322	91	100.0	397.5	112.3	6	9	150.0	74.9%	10.1
70	神戸地裁洲本支部		98	184	108	100.0	187.8	110.2	3	6	200.0	55.1%	18.0
71	神戸地裁伊丹支部		423	717	460	100.0	169.5	108.7	13	42	323.1	33.7%	11.0
72	神戸地裁明石支部		339	710	356	100.0	209.4	105.0	13	32	246.2	42.7%	11.1
73	神戸地裁柏原支部		60	154	84	100.0	256.7	140.0	2	6	300.0	46.7%	14.0
74	神戸地裁杜支部		115	206	128	100.0	179.1	111.3	2	8	400.0	27.8%	16.0
75	神戸地裁龍野支部		93	177	102	100.0	190.3	109.7	1	3	300.0	36.6%	34.0
77	奈良地裁葛城支部	合議	391	801	442	100.0	204.9	113.0	24	43	179.2	63.1%	10.3
78	奈良地裁五条支部		46	94	48	100.0	204.3	104.3	0	3			16.0
80	大津地裁彦根支部		217	448	252	100.0	206.5	116.1	14	31	221.4	52.4%	8.1
81	大津地裁長浜支部		79	180	104	100.0	227.8	131.6	0	4			26.0
83	和歌山地裁田辺支部	合議	149	271	126	100.0	181.9	84.6	8	11	137.5	61.5%	11.5
84	和歌山地裁御坊支部		31	67	43	100.0	216.1	138.7	0	2			21.5
85	和歌山地裁新宮支部		37	69	12	100.0	186.5	32.4	1	4	400.0	8.1%	3.0
	支部小計		7239	13617	7564	100.0	188.1	104.5	256	560	218.8	47.8%	13.5
58	大阪地裁本庁		13184	20211	13439	100.0	153.3	101.9	2836	4000	141.0	72.3%	3.4
61	京都地裁本庁		3355	5340	4236	100.0	159.2	126.3	371	642	173.0	73.0%	6.6
66	神戸地裁本庁		2883	4223	2654	100.0	146.5	92.1	335	513	153.1	60.1%	5.2
76	奈良地裁本庁		822	1176	736	100.0	143.1	89.5	72	112	155.6	57.6%	6.6
79	大津地裁本庁		749	1249	707	100.0	166.8	94.4	43	105	244.2	38.7%	6.7
82	和歌山地裁本庁		610	957	692	100.0	156.9	113.4	65	124	190.8	59.5%	5.6

支部に弁護士は倍増したが、それでも事件数は増えない！

弁護士1人当り事件数は、この10年で3割減少(全国平均)

## 弁護士の所得分布の変遷

	総人員	70万円以下	500万円以下	1000万円以下	1500万円以下	2000万円以下	3000万円以下	5000万円以下	5000万円以上
H20年	23,470	2,661	4,902	4,865	3,485	2,355	2,346	1,533	1,323
H21年	25,533	4,920	4,390	5,650	3,648	2,184	2,142	1,500	1,099
H22年	26,484	5,818	4,684	6,056	3,581	2,044	1,966	1,362	973
H23年	27,094	5,714	5,503	6,636	3,481	1,932	1,791	1,152	885
H24年	28,116	5,508	6,382	7,049	3,515	1,902	1,691	1,169	900

